



自分たちの遊びを自分たちでつくる —社会と響き合う幼児の遊び—

園長 福原 良子

今年はすでに3つの台風が関東に接近するなど、台風の影響を大きく受けています。台風で被害にあわれた皆様には心からお見舞いを申し上げます。

さて、幼稚園での遊びに目を向けますと、こどもたちは台風の脅威を感じながらも、大切なことも体感していましたのでご紹介します。

①



台風の翌日、築山の一部が深く削られていることを発見
①「どうして、ここだけ削れているんだろう？」不思議に思いながらも、どのくらい深く溝ができたのかを調べています。

実は①の疑問、この溝の上には日よけシートの雨だれが落ちるようになっていました。こどもたちはこのことを発見することはありませんでしたが、同じ雨でも立地によって影響の受け方が違うことを体感したことでしょう。いつの日か、この遊びで感じたことが仕事や生活で生かされる日が来るのだらうと、こどもたちの広がる未来に思いをはせてできごとでした。

②



さっそく、流れ出た土を運んで修復作業が始まります

③



新ら仲間も加わり、復旧工事が進んでいきました！

・「とよさぽ」紹介・

R8も「とよさぽ」の活動が始まり、こどもたちの生活を豊かにしてくださっています！

手芸部：新しいメンバーが加わり、活動がスタートしました。今年度は、季節のタペストリーと、棚にピッタリサイズのカバーを作成していただきます。

通訳サポーター：様々な言語のサポーターの方が、幼稚園と外国籍の方との橋渡しをしてくださっています。

ICT部：ICT機器のサポートをしていただくことになりました。

園芸部：「ハッピーフラワー」という部の名前があります。昨年度から新メンバーも加わり、園内、歩道脇のプランターや花壇を季節の花で飾っていただいています。

かんがるースタッフ：未就園児親子登園「かんがるーひろば」のお手伝いを月1回お願いしています。

新規加入を希望の方は、幼稚園までお問合せください。